

平和行進活動交流ニュース

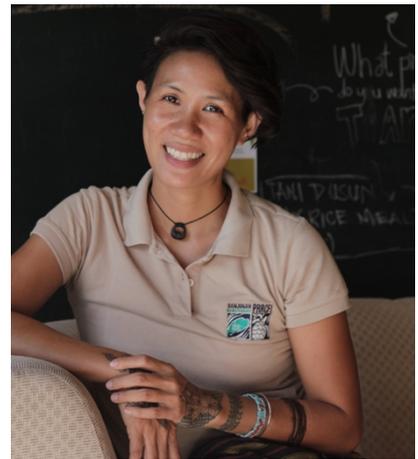
発行：原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局団体・日本原水協
電話：03-5842-6035 FAX：03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2019年
5月15日
発行

核兵器全面禁止・廃絶の声を広島・長崎・世界へ届けよう

5月18日から神奈川県内の行進に参加し、19日から31日まで静岡県内を行進する国際青年リレー行進者のチャーリー・サンタ・マリアさん（フィリピン）のプロフィールを紹介します。

誰もが「チャーリー」と呼ぶキャロル・テア・サンタ・マリアは、フィリピンサンゴ礁・熱帯雨林保護基金という団体の政策提言・広報担当を務めています。フェイスブックやインスタグラムを通じて、同基金がダンジュガン島の海洋野生生物保護区で進めている生態系保護活動と、草の根のコミュニティと共に進めている開発の活動について、わくわくするような物語を広報する責任者をつとめています。彼女は興味深い物語を語り、写真やビデオを使って生き物の決定的な瞬間を切り取ることが大好きで、それらを見た人びとが積極的な行動に立ち上がることを願っています。彼女は他者に共感する能力に優れており、出会う全ての人びとに対して、どれほど立場の異なる者であっても、他とは違う愛情あふれる見方や接し方をすることができます。



チャーリーは、手間を惜しまず面倒な仕事に取り組むことの重要性を理解しています。映像を通じた語り部として、言葉よりも行動に示すことで人びとに教えることを常としています。概して彼女は、誠実な環境保護活動家、そして真実の語り手であり、このために世界中でドキュメンタリーと映像による語り部の活動を行っています。ショービジネスの華麗な世界よりもローカルで草の根の人びとと接することを好みます。彼女が独自に制作した「バブヤンの本（Books for Babuyan）」は2015年、世界平和連盟の平和賞を受賞しました。またナショナル・ジオグラフィックのドキュメンタリー「瀬戸際：未知の海（On the Brink: Unchartered Waters）」の制作に参加。これはジンベイザメを犠牲にした観光業に関するもので、ウッズ・ホール海洋研究所とハーバード大を含む大学や研究機関にて教育目的で上映されています。現在彼女は、2014年にマニラからタクロバンの間1000kmを40日間にわたって歩いた気候変動防止行進に参加した際に撮影したドキュメンタリー映画を製作中です。この映画は、気候変動でもっとも悪影響を受ける人びとや生物の声を集めたもので、世界中で、特にフィリピン国内で求められている「気候正義を」の叫びのまっただ中にある現実を人びとに知らせることを目指しています。

みなさん、こんにちは。私はチャーリー・サンタ・マリアです。「チャーリー」と呼んでください。平和行進に参加するのは初めてです。参加できてとても光栄です。私の目標は、この平和行進から重要なストーリーをすべて集めて、私の地元の人びとに持ち帰り、それらを全てつなぎ合わせ、写真やビデオなどを使って力強いビジュアルな物語を作り上げることです。